

---

# 日本科学者会議

## 第15回総合学術研究集会(京都)

### 4th Circular

開催日：2004年11月26日(金)～28日(日)

会場：キャンパスプラザ京都・立命館大学衣笠キャンパス

テーマ：持続可能な文明をめざして

— 阻害要因の解明と克服の展望

— 平和、環境、経済、科学・技術、教育・文化のあり方を問う —

---

#### 託児室を設けます

集会の2日目と3日目に託児室を設けます。託児希望者は、氏名と連絡先(住所、電話・FAX番号、メールアドレス)と乳児・幼児・学童の別、託児を希望する時間(27日午前・午後、28日午前・午後)を実行委員会事務局までお知らせください(締め切りは11月19日)。折り返し、託児申込用紙を送りますので、記入・返送してください。

#### 書籍販売コーナーを設けます

集会の2日目と3日目に書籍販売コーナーを設けます。場所は、主会場の立命館大学衣笠キャンパス敬学館の1階237番教室(集会参加者休憩室)です。会員や支部の出版物の委託販売を受け付けます。書籍は販売依頼者が会場に持ち込み、回収してください。初日の開会全体集会(キャンパスプラザ京都)では、スペースの都合上、書籍販売コーナーは設けません。

#### お弁当の販売を行います

27日と28日は、昼食用の弁当(600円)を販売します。前日に受付でチケットを販売し、当日お昼にお弁当と交換します。お茶は別売りです。27日は学内の食堂が営業しますが、28日は学内のすべての食堂が休業しますのでご注意ください。

#### 27日、28日の会場と受付

集会2日目と3日目の主会場は、立命館大学衣笠キャンパス敬学館です。受付は、1階238番教室に設置します。敬学館は正門からはキャンパス内を横切って最も遠い位置にあり、距離は約500mです。

#### 「コープイン京都」から立命館衣笠キャンパスへの交通

実行委員会の斡旋した宿泊施設の「コープイン京都」から立命館大学衣笠キャンパスまでは、市バスが便利です。「コープイン京都」の前の柳馬場通を南に下がり四条通に出て、それを渡ってから右(烏丸通方向)へ進み、京都大丸の斜め向かい、[四条高倉]バス停から、市バス12系統または51系統に乗車、終点の[立命館大学前]下車です。所要時間は約30分。降りたところは正門です。

## 分科会の会場（立命館大学衣笠キャンパス）

一般分科会 7 と 8 以外は敬学館 1 階です。

### 11月27日（土）午前

- 【テーマ分科会 1（平和）】地球規模の平和社会への展望 ..... 敬学館 1 階235番教室
- 【テーマ分科会 2（環境）】環境保全型社会への課題と展望  
第1セッション「温暖化」 ..... 234番教室
- 【テーマ分科会 3（経済）】持続可能な社会経済システムを問う  
第1セッション「グローバル化下の経済」 ..... 233番教室  
第2セッション「市場機構と経済民主主義の諸相」 ..... 232番教室
- 【テーマ分科会 4（科学・技術）】「豊かな社会後の社会」における科学・技術を考える  
239番教室
- 【テーマ分科会 5（教育・文化）】  
【分散会 A（教育）】子どもの発達と教育の可能性 ..... 240番教室  
【分散会 B（文化）】持続可能な社会と新しい倫理 ..... 241番教室

### 11月27日（土）午後

- 【一般分科会 1】研究者の権利・地位問題 ..... 敬学館 1 階235番教室
- 【一般分科会 2】水産問題 —持続的な発展をめざして— ..... 239番教室
- 【一般分科会 3】医療・薬と生命倫理 —人間の尊厳をもとめて— ..... 234番教室
- 【一般分科会 4】エネルギー・原子力問題 ..... 233番教室
- 【一般分科会 5】安全な社会を目指して  
—阪神淡路大震災から10年、災害科学の到達点と課題— ..... 232番教室
- 【一般分科会 6】国立大学法人化元年とその波及 ..... 240番教室
- 【一般分科会 7】環境思想を考える ..... 末川記念会館 2 階会議室③
- 【一般分科会 8】地域の資料・文化財と歴史の学び ..... 会議室②
- 自由論題セッション ..... 敬学館 1 階241番教室
- ポスターセッション ..... 236番教室

### 11月28日（日）午前

- 【テーマ分科会 1（平和）】地球規模の平和社会への展望 ..... 敬学館 1 階235番教室
- 【テーマ分科会 2（環境）】環境保全型社会への課題と展望  
第2セッション「廃棄物・有害物質汚染」 ..... 234番教室  
第3セッション「生態系」 ..... 233番教室
- 【テーマ分科会 3（経済）】持続可能な社会経済システムを問う  
第3セッション「持続可能な経済システムを展望する」 ..... 232番教室
- 【テーマ分科会 4（科学・技術）】「豊かな社会後の社会」における科学・技術を考える  
239番教室
- 【テーマ分科会 5（教育・文化）】  
【分散会 A（教育）】子どもの発達と教育の可能性 ..... 240番教室  
【分散会 B（文化）】持続可能な社会と新しい倫理 ..... 241番教室

## 交流会等

### 権利問題交流会・「全国研究者人権ネットワーク（仮称）」設立準備集会

日時：2004年11月26日（金） 18:30～

場所：キャンパスプラザ京都（京都駅前）5階第1講義室

内容：1）設立の趣旨について

2）人権問題交流会

3）ネットワークの設立と運営に関する提案と今後の日程

### 委員会の開催

医療と薬害問題研究委員会：11月27日（土）11:00～13:00 敬学館1階242番教室

### その他（3rd Circular 既報）

女性研究者・技術者交流会：11月26日（金）18:30～20:30

思想・文化研究委員会：11月26日（金）18:30～20:30

平和問題研究委員会：11月27日（土）20:30～22:00 国際平和ミュージアム2階209号室

15総学記念囲碁大会：11月28日（日）夜 白雲荘

## 3rd Circular の訂正

### 開会全体集会（11月26日午後）の会場

（正）キャンパスプラザ京都・4階第2講義室

（誤）キャンパスプラザ京都・5階第1講義室

### 立命館大学国際平和ミュージアム見学会の追加

11月27日（土）と28日（日）のお昼休みに加えて、27日（土）17:30からも行います。

### 自由論題セッションのプログラムを以下のように変更

11月27日（土）

持ち時間が短くなっていますのでご注意ください。

13:30 [開会]（持ち時間は、報告20分、質疑応答10分）

司会：伊藤武夫・山谷洋二

松本邦彦：イラク人質事件とNGOの課題 —2004年は「ボランティア零年」か—

湯浅精二：株式会社「ぱっくす」の起業と科学（者）運動の展開

井上 宏：現代資本主義体制と地域産業・まちづくりの課題

後藤隆雄：農耕社会と工業化社会の同一基盤性と人間労働からの考察

15:30 [休憩]

西山勝夫：「15年戦争」における日本の医学医療に関わる戦争犯罪

上野 哲：日本における学校教員の倫理をめぐる問題点

—技術者倫理教育との比較検討を中心に—

鈴木章方・竹内 智・風間ふたば・小谷信司：

国の天然記念物「山中湖村ハリモミ純林」の保護と再生のとりくみ

17:10 [閉会]

## 気候変動の問題での対政府申し入れ

閉会全体集会において、気候変動の問題に関する政府への申し入れについて討議し採択することを予定しています。以下に起草委員会による文案を示しますので、ご意見を実行委員会事務局までお寄せください。

### 気候変動緩和のための基本政策にかかわる申し入れ（案）

内閣総理大臣 小泉純一郎殿

国連気候変動枠組条約が発効してから今日までの10年間に、世界は計器観測史上10位以上の高温年を7度にわたって経験しました。大気中のCO<sub>2</sub>濃度はすでに375ppmに達し、過去100年の平均気温の上昇幅は0.7℃に及んでいます。世界各地で年々大きな被害をもたらしている異常気象は今世紀を通じて増大し続けることが予測され、来世紀以降については西部南極氷床の崩壊や海洋大循環の停止にいたる破局的事象の発生を懸念されています。気候変動の緩和が21世紀文明にとっての最大の課題であることには、もはや疑いの余地がありません。

同時に、この10年は、気候変動に対処する国際協力の難しさを示す年月でもありました。「最初の一步」である京都議定書こそようやく来春発効する運びとなりましたが、「第二約束期間」（2013～2017年）をめぐる新協定の締結では多大の困難が予想されます。その点とのかかわりでもとりわけ憂慮されるのは、リオ・サミットから12年過ぎた今なお、気候変動対策の根幹をなすべき中・長期的気候目標をめぐる国際合意が枠組条約第2条の定性的な表現に留まっていることです。状況は重大であり、人類が知恵と力を総動員することを求めています。それは、諸国民が、歴史の中で培ってきた民主主義の理念を活かし、国際主義の精神を発揮するよう促しています。

日本は、温室効果ガスの大量排出国の一つとして、排出削減のための国際協力に積極的に貢献すべき立場にあります。同時に日本は、それがもつ科学技術の水準や経済力からして、そうした国際協力で大きな役割を果たす可能性をえています。私たちは、気候変動問題への対応で世界に貢献することこそ、何にもまして「国際社会において名誉ある地位を占める」所以であると確信します。

以上のことを念頭におきながら、私たちは、つぎの3点を政府に提言します。

1. 京都議定書で定められた課題を確実に達成するため、各種の不確実性をともなう新技術の開発・導入に頼ることなく、既存技術の普及に依拠しながら、炭素税を含めて実効性が期待できるすべての政策措置を全面的に導入・強化すること。
2. 第二約束期間に向けても、これまでの国際交渉の成果として現行議定書に盛り込まれた諸原則を引き継ぎながら、環境上の安全性と課題達成の確実性を保障する協定を取り結ぶよう、各国に働きかけること。
3. 温室効果ガスの世界的な排出量限度を含む中・長期的な気候目標について日本国政府としての見解を策定・公表し、各国政府による同様な見解表明をもとにして気候目標をめぐる国際合意を生み出すよう努力すること。

2004年11月・京都 日本科学者会議第15回総合学術研究集会

---

## 第15回総合学術研究集会実行委員会事務局の連絡先

e-mail [jsa-sg@yahoogroups.jp](mailto:jsa-sg@yahoogroups.jp)

604-0931 京都市中京区寺町二条東入ル 南館3階 日本科学者会議京都支部

TEL/FAX 075-256-3132 (担当者: 伊藤 [火・金曜日10:30-16:30])

---

### 日本科学者会議

THE JAPAN SCIENTISTS' ASSOCIATION (JSA)

113-0034 東京都文京区湯島1-9-15 茶州ビル9階

TEL 03-3812-1472 FAX 03-3813-2363

e-mail [mail@jsa.gr.jp](mailto:mail@jsa.gr.jp) ホームページ <http://www.jsa.gr.jp>

---